



入場無料

広島県立文書館収蔵文書展

# 広島港の歴史と資料

令和6年3月26日(火)~6月8日(土)

## 広島県立文書館展示室

開館時間 平日 9:00~17:00

土曜 9:00~12:00

\*日曜日・祝日・休日は休館

文書館講演会 (展示解説会)

## 広島港の歴史と資料

日時: 令和6年6月1日(土) 10:00~12:00

会場: 広島県立文書館研修・会議室

講師: 荒木清二 (広島県立文書館職員)

定員: 30名

申込方法: 電話・FAX・Eメール・往復はがきで  
5月24日(金)までにお申し込みください。

文書館ホームページ



<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/monjokan/>

〒730-0052 広島市中区千田町三丁目7-47

TEL 082-245-8444 FAX 082-245-4541

E-mail monjokan@pref.hiroshima.lg.jp

### 広島県立文書館



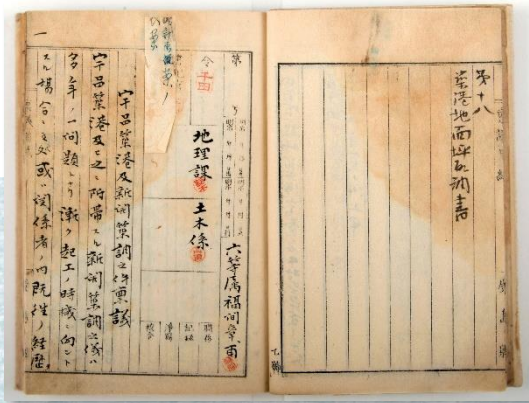


# 広島県立文書館収蔵文書展 広島港の歴史と資料

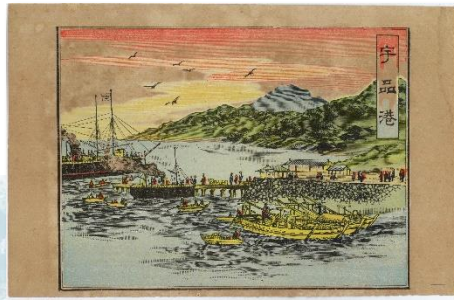
うじな 宇品港は、広島県令（県知事）<sup>せんださだあき</sup> 千田貞暁の主導によって明治22年（1889）に築港されました。明治27年（1894）の日清戦争以後は、軍用港（陸軍の輸送拠点）として重要な役割を果たしましたが、大正時代に入ると商業利用の機運が高まります。昭和7年（1932）には港域を拡大して広島港と改称し、商業港や工業港の整備が進められました。

終戦によって軍用港としての役割を終えた広島港は、昭和23年（1948）に貿易港として開港指定を受け、広島県の高度経済成長を支える流通拠点として発展します。昭和45年（1970）には港域が西に拡張され、廿日市港区が広島港に編入されました。近年は、国際的な物流・交流の拠点として整備され、平成23年（2011）には港湾法上の国際拠点港湾に指定されています。

本展では、築港から現代に至る広島港の130年余の歴史を広島県立文書館の収蔵資料によって跡付けます。



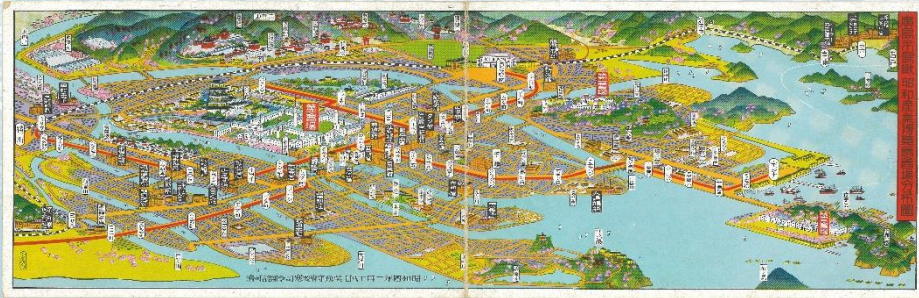
宇品築港及新開築調之件稟議 明治17年（1884）2月  
千田貞暁県令決裁（広島県立図書館移管文書 200811-1）



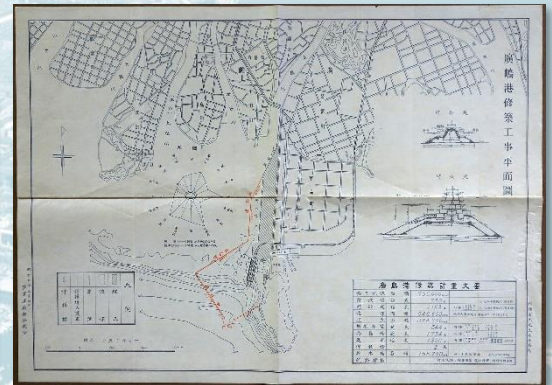
宇品港（版画）  
（竹島浅吉氏収集文書 199510-120）



〔絵葉書〕 広島市宇品海岸通  
（長船友則氏収集資料 200407-1582-2）



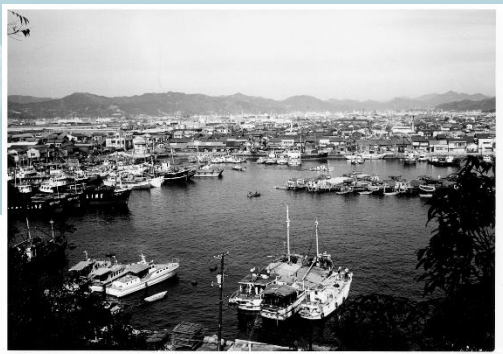
広島市鳥瞰昭和産業博覧会会場分布図 昭和4年（1929）  
（長船友則氏収集資料 200407-3271 所収）



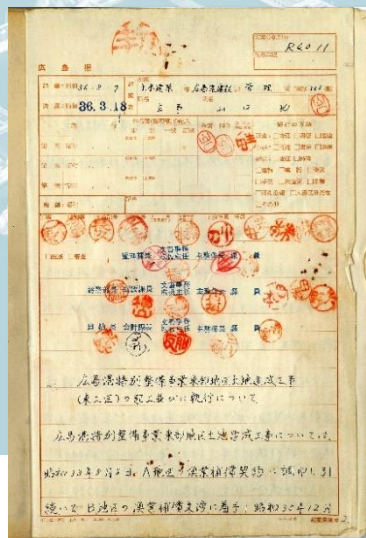
広島港修築工事平面図 昭和9年（1934）  
（長船友則氏収集資料 200407-3335 所収）



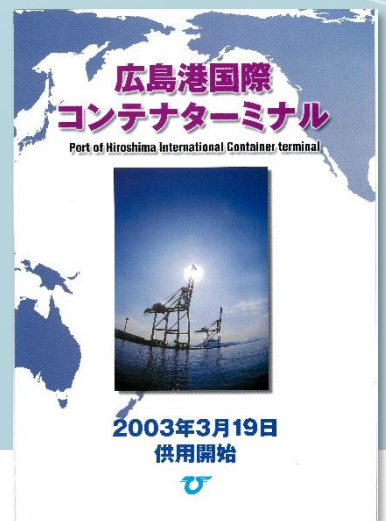
〔絵葉書〕 生れ変わった宇品港  
（長船友則氏収集資料 200407-1584-4）



「元宇品より望む」 昭和38年（1963）  
（広島築港百年史編纂委員会資料 200307-277 所収）



広島港特別整備事業東部地区土地造成  
工事（東工区）の起工並びに執行について  
昭和36年（1961）3月  
（県行政文書 S01-93-19 所収）



広島港国際コンテナターミナル  
2003年3月19日 供用開始  
（県行政資料 7030-2009-1648）